

第2次阿蘇市地域福祉計画（素案）に関する意見募集の結果及び市の考え方について

「第2次阿蘇市地域福祉計画（素案）」について、市民の皆さまからご意見を募集しましたが、寄せられたご意見等の概要とこれらに対する市の考え方を下記のとおり公表します。

ご意見をお寄せいただきありがとうございました

記

- 1 募集期間 平成25年2月8日（金）～平成25年2月28日（木）
- 2 意見の件数 13件（1人）
- 3 意見の取り扱い ①計画案に反映②施策に反映させるための参考とする③反映できない④その他
- 4 意見の提案の概要と市の考え方

No	部章	素案 ページ	項目	ご意見内容	市の見解	取り扱い
1	1部 1章	P3	1 地域福祉とは	4行目は社会福祉法第4条の事が書いてあると思いますが、そのまま原文を明記した方が良いのではないかと思います。理由は第4条は地域福祉の推進についての記述ですから、文を変えると解釈によってはとらえ方が変わってくるのではないのでしょうか。	ご指摘のとおり社会福祉法第4条は地域福祉の推進に係る記述となりますが、現在の表現で解釈が大きく変わるとは思われません。また、P5に社会福祉法第4条を記載しています。	③反映できない
2	1部 1章	P5	3 計画の位置づけ	位置付けの図において、地域福祉活動計画（社会福祉協議会）との間を両矢印でつないでありますが、ここは「連携」と表示したらいかがでしょうか。社会福祉協議会との関係を更に密にするとともに重要であるため。	矢印の下に「連携」を加筆します。	①計画案に反映
3	1部 1章	P6 P7	4 計画の期間 5 計画の基本理念 6 計画の基本目標	ここでは第1次計画と記載がありますが、当初の第1次阿蘇市地域福祉計画は地域住民に対して、周知・公表がなされていない状況であると思われ、ましてや基本理念のスローガンや計画の基本目標など初めて知ることとなるのではないのでしょうか。そのような意味では、今回の第2次計画が新たなスタートとなるのではないのでしょうか。	ご意見のとおり、市のホームページや広報等による公表は実施していませんが、当計画に基づき実施された事業や社協の取り組みもあります。 なお、第1次計画は本年度をもって失効しますので、第2次計画は新たなスタートとなる計画と考えております。	④その他
4	1部 1章	P8	7 計画の体系	体系図の左側の「みんなで作る共に生き、共に支え合う安心のあるまち 阿蘇」とありますが、「みんなで作る 共に生き、共に支え合う <u>安心のまち</u> 阿蘇」でよいのではないのでしょうか。	ご意見のとおり変更します。	①計画案に反映

No	部章	素案 ページ	項目	ご意見内容	市の見解	取り扱い
5	1部 1章	P9	8計画 の策定 体制	単純な入力ミスと思いますが、「阿蘇市地域福祉計画策定委員会」（以下、策定委員会という）とあります。「阿蘇市地域福祉計画策定委員会」（以下、策定委員会という）が正当と思います。	ご意見のとおり変更します。	①計画案 に反映
6	1部 1章	P9	8計画 の策定 体制	20歳以上の男女940人から有効回答とありますが、調査対象者は何名に対してだったのでしょうか。また、回収率は何パーセントですか。	アンケート調査については、社会福祉協議会が実施した地区連絡会に出席した方全てを対象に実施しました。また、20代～40代を対象に各世代150名を抽出し郵送によるアンケートを実施しました。このアンケートの回収率は約8.7%でした。	④その他
7	1部 1章	P10	8計画 の策定 体制	調査対象の福祉等関係事業所を対象にアンケートの実施をされていますが、社会福祉協議会関連以外の民間が運営する福祉関係団体、ボランティア団体等の名称と所在地などを一覧表にして、参考として本計画に添付してはいかがでしょうか。	名称と所在地を掲載する場合、全関係事業所から掲載に同意する旨の了承を得る必要がありますので、掲載する予定はありません。	③反映で きない
8	1部 1章	P17	9地域 活動で の課題	「市全体での地域活動での課題」ではなく、「市全体での地域活動の課題」でよいのではないのでしょうか。	ご意見のとおり変更します。	①計画案 に反映
9	1部 1章	P18	9地域 活動で の課題	地域住民に対してのアンケートでは、各地区を対象に実施されていますが、それぞれの地区には地域毎の特徴があると思われることから、アンケート結果については全体をまとめて画一的にするのではなく地区別と年齢別に分けて集計結果を出した方が、地域住民にとっても分かりやすく、また今後の取り組みにおいても参考になるのではと思います。	詳細なアンケート結果については、各地域の取り組みの中で地区の住民の皆様にお示しをさせていただき、活動の参考となるように活用したいと考えています。よって、現状では、市全体の集計結果のみ掲載します。	③反映で きない
10	1部 1章	P18	9地域 活動で の課題	グラフの集計については、それぞれの設問に対して点数により結果が出されていますが、高評価、低評価の設定では、設問に対する回答方法が分からないために、グラフを見ても理解がされないのではないのでしょうか。凡例でも表示してあれば少しは分かるのかも知れませんが。	ご意見のとおり変更します。	①計画案 に反映

No	項目	ご意見内容	市の見解	取り扱い
11	その他	<p>事業所に対してのアンケートと併せて、日頃から地域住民に密接な関係が深く、地元に着した活動をされている民生委員、児童委員へのアンケートは実施されなかったのでしょうか。地域毎の問題点も新たに浮かび上がり、今後の本計画の推進に向けて活動の一助になるのではと考えます。</p>	<p>全民生委員を対象に記入式による意見の集約を行っていますので、今後の活動の中で、参考としていきたいと考えています。 なお、集約結果については、本計画に加筆します。</p>	<p>②施策に反映させるための参考とする</p>
12	その他	<p>(1) 今回の第2次阿蘇市地域福祉計画の策定にあたっては、策定委員会において審議したとありますが、その審議内容の経緯（時系列に）や現在の委員会名簿を資料として追加してほしいのですが。</p> <p>(2) 真に地域住民に密着した取り組みをするためには、策定にあたって事前に地域懇談会やワークグループにより要望や意見等を取りまとめて作成することが必要ではと思いました。</p> <p>(3) 第1次阿蘇市地域福祉計画は平成20年3月から、取り組むことになっていましたが、事業所等のみに周知、公表し主権者である地域住民はこのような計画があることも認知していないのではないのでしょうか。第2次計画の実施にあたっては、全ての住民に対して、説明会等による周知、広報が重要ではないのでしょうか。</p> <p>(4) 第2次計画の周知、広報には概要版を作成して広報誌「あそ」の特別版に掲載するか、別途の方法で周知の徹底を図ってください。</p> <p>(5) 第2次計画は25年から6年間という長期のスパンで実施していくとのことですが、1～2年を区切りとして、確実に成果等や問題点を検証して次年度へ生かせるようにすべきと思います。往々にして、その期間が終了するまでそのままということに成りかねないと思います。</p> <p>(6) 今後の取り組みとしては、地域住民をいかに参加させるかが鍵となります。この本計画が絵に描いた餅にならない事を期待するものです。</p>	<p>寄せられたご意見を踏まえ、策定委員会の経緯及び名簿等については、計画策定時に掲載するとともに、概要版を作成し、周知を図って参ります。また、今後の策定の在り方や計画の検証について、ご意見を参考としながら取り組んで参りたいと考えております。</p>	<p>②施策に反映させるための参考とする</p>
13	その他	<p>4ページに「高齢者いきいきプラン」とありますが、この施策については、ホームページに掲載されているのでしょうか。パブリックコメントで過去に募集してありましたが、インターネット上では第4期阿蘇市高齢者いきいきプランの素案を見つけました。これについては、公表されているのでしょうか。</p>	<p>市のホームページや広報等による公表は行っていません。 なお、本計画の公表義務はありませんが、広く市民への周知を図るため、公表等については、検討したいと考えています。</p>	<p>④その他</p>